



2019.03.14

2019年3月9日(土) チーム神於山 活動報告

シャープ社友会
チーム神於山 真砂 記

■活動日：2019年3月9日(土) 10:00~15:00

■参加者：チーム神於山 10名

■活動内容

- ・今回は、午前中に、前回準備したクヌギとコナラにシイタケの、またヤマザクラにナメコの菌を植え、午後は、竹林の整備に取り組みました。
- ・ナメコは、シイタケよりも湿度を好みますから、伏せ方が違いますが、以前も原木栽培に取り組み、植菌は見事に成功しました。ただ、残念なことに収穫できないまま終わりましたので、今回はリベンジマッチです。
- ・シイタケもナメコも、6~7月頃に本伏せします。収穫は、通常来年の秋口からですが、上手く菌が回れば今年の秋から楽しめるかもしれません。
- ・竹林は、香遠さんが持ってきてくれた犬の毛を網袋に詰めて、これでもか！という位竹柵にぶら下げました。
- ・また去年の台風で折れたり倒れたりしている竹を切りました。
かなりの本数を切りましたが、まだ折れたり倒れたりしている竹が残っています。

■次回の活動

- ・次回からは、フクロウの観察が大きなウエイトを占めますが、特に、最近ヒットが無いトレイルカメラについては、性能の見極めと、設置場所について色々考えないといけないようです。

■シイタケとナメコの植菌。

シイタケは、クヌギとコナラ。ナメコは、ヤマザクラに植菌しました。



クヌギとコナラに穴を開け・・・シイタケ菌をトンカン打ち込みます。



- ・シイタケもナメコも植菌の仕方は同じで、菌駒専用又は9mmのドリルビットで25~30mmの穴を開け、菌駒を打ち込みます。
- ・穴は、縦方向に15~20cm。円周方向に4~5cmで開け、菌駒を木槌又はゴムハンマーで打込みます。



ヤマザクラに穴を開け・・・ナメタケ菌をトンカン打ち込みます。



- ・下は当日収穫したシイタケ。どんこが豊作です。



■ナメコの仮伏せ

期間は約3~4ヶ月程度。6~7月に本伏せします。



地面に網戸のネットを敷き、ナメコの原木を寝かせ、寒冷紗を掛けて枯葉で覆いました。

- ・シイタケもナメコも植菌の仕方は同じです。
- ・ただ、ナメコはシイタケよりも湿度が必要なので、シイタケは井桁に組んで寝かせましたが、ナメコは地面に寝かせ、更に藁や枯葉を被せて保湿します。
- ・寝かせる期間は菌糸が原木内に蔓延するまでで、普通3~4ヶ月必要です。

■午前中活動頂いた10名の皆さん。

お疲れ様でした。 午前中のめは焼モチ入りのぜんざいです。



塩昆布も入った本格ぜんざい。



餅焼役の金井さん。

- 午前中のめは、金井さんご夫妻の心づくしの、焼モチ入りのぜんざいです。
- 圧力なべで炊いた北海道産の小豆は、柔らかく、美味しくいただきました。
- ありがとうございました
- 次回は、神於山の野草の天婦羅をしようかとの話が出ています。楽しみです。

■午後は竹林の整備に汗を流しました。

昨年の台風被害はかなりのものです。



- 昨年の台風で折れたり倒れたりしている竹を切りましたが、まだ折れたり倒れたりしている竹が残っています。
- イノシシ除けに、香遠さんが持ってきてくれた犬の毛を網袋に詰め、竹柵にぶら下げました。
- これだけ付けると、イノシシは竹柵内に入らないだけでなく、その周りの竹林にも近づかないかも知れません。

■午後も活動頂いた6名の皆さん。

お疲れ様でした。 撮影は、6人目の岡森さんです。



■神於山も春近し。

ヤブツバキが満開！ 馬酔木が紅白の花をたわわに咲かせています。



♪もうすぐハールですねえ・・・

以上